

全国・県学習状況調査における生徒の結果分析（2年）

今年度の分析

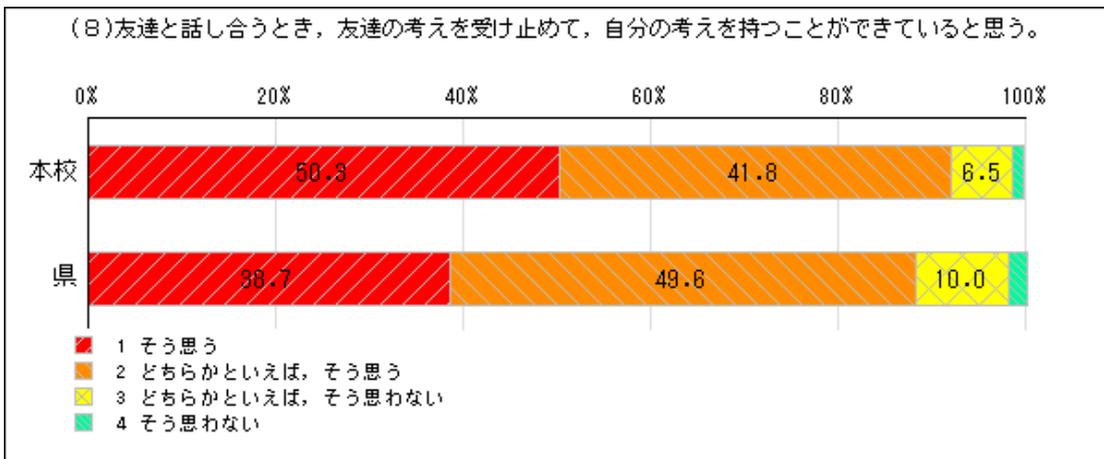
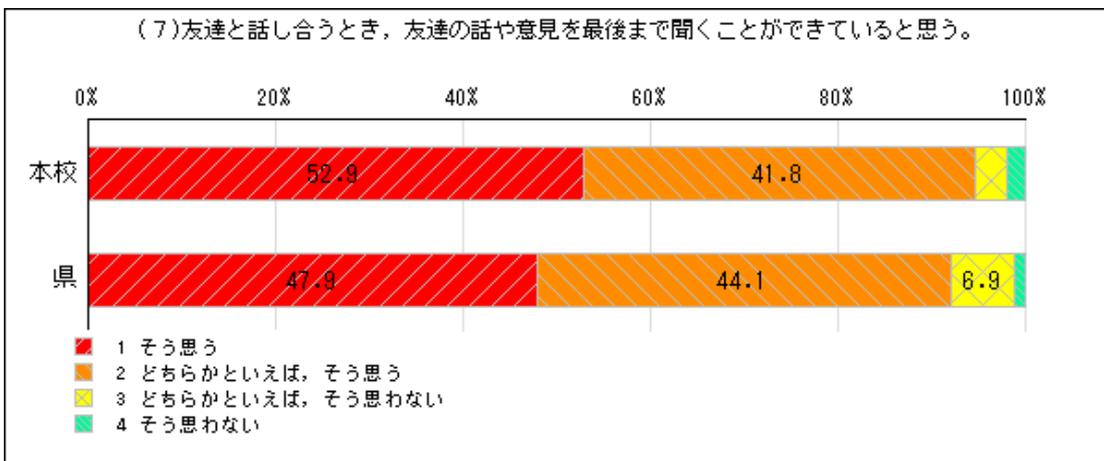
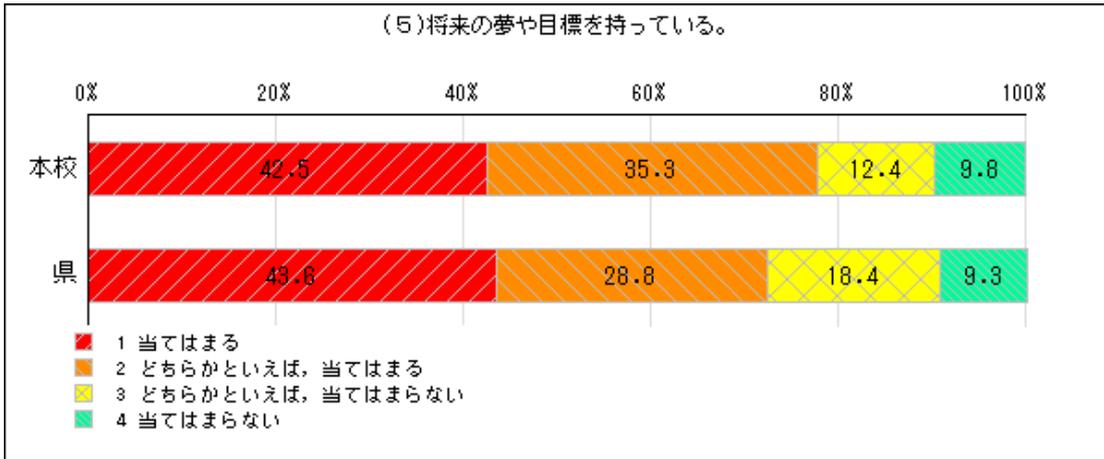
全体の概要		
国語	本校の全体の正答率は、県平均とほぼ同じである。「話す・聞く」「書く」「読む」の3観点においてはそれぞれ県平均を上回っているが、「知識・理解・技能」の点で県平均を下回っている。	
分析結果・課題把握	改善に向けた具体的取り組み事項	
聞 話 く す	文を適切に書き換える設問が県平均をやや下回っており、特に設問の内容が理解できていない解答が多く見られる。	設問の意図を理解できるような学習や、場面に応じた言葉の選び方の学習に力を入れる。
書 く	自分の言葉で考えを書く問題が2つ、県平均を下回っており、条件を満たしていない解答が多いが、無解答率は低い。	設問の意図の理解という点で他観点と同じ原因が挙げられる。条件や指示に従い書く力をつける学習を行う。
読 む	全体的には県平均点より高いが、活用力を問う問題で県平均をややしたまわっており、条件に従って書けていない答えが多い。	読めてはいても書けないというかたちで、活用力の低さが問題となる。他観点と関連づけ、書く力に繋げていく学習を取り入れる。
知 ・ 識 技 ・ 能 理 解	4つの観点の中で、唯一全体が県平均を下回っており、その中でも漢字の書きが県平均を大きく下回っている。	漢字の書き取りについては日頃の学習の中に、できるだけ取り入れ、活用ができるようにしていく。

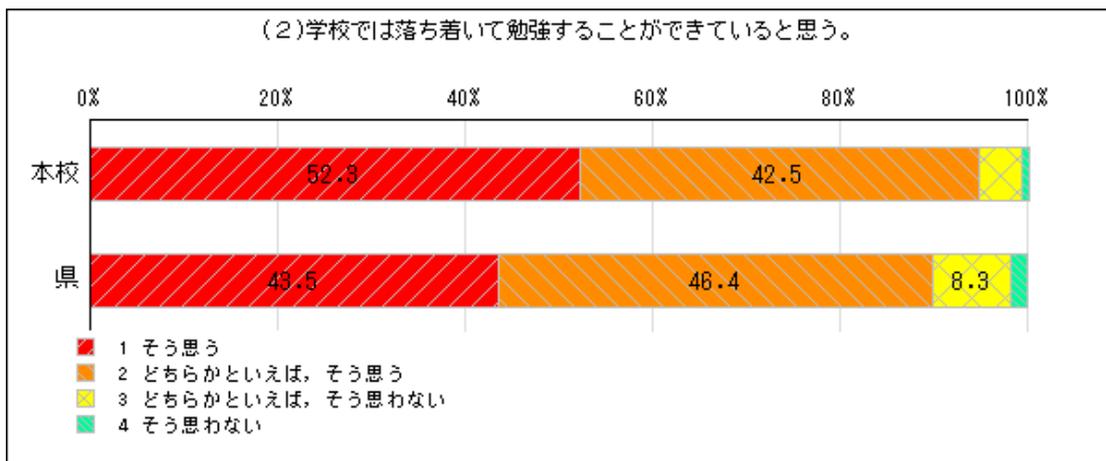
今年度の分析

全体の概要		
数 学	全体の正答率は県平均をやや上回っている。到達度分布を見てみると「十分達成」の生徒の割合が多く、「要努力」の生徒の割合が低くなっている。 内容・領域別に比較をしたときは「数と式」「関数」「資料の活用」で県平均をやや上回っており、「図形」では大きく上回っている。	
分析結果・課題把握	改善に向けた具体的取り組み事項	
考 え 方	県平均をやや上回っている。すべての問題で、県平均と同じか上回る結果になっている。	授業中に考え方を発表する場面を設定する。また、定期テストでも記述式の問題や批判的に考えさせる問題を出題する。
技 能	県平均をやや上回っている。県平均を上回る問題が多い中で、不等式で表すことを苦手としている傾向が見られた。	本校の取り組みのすきるアップテストの実施により、基本的計算能力の定着を図るとともに、課題や小テストを利用して多くの問題に取り組みさせる。
知 識 ・ 理 解	県平均を大きく上回っている。すべての問題で、県平均を上回る結果になっている。	授業の中で数学用語の確認を行い、数学的表現を使って説明することで定着を図る。

全国・県学習状況調査における生徒意識調査の結果分析（2年）

【 数値が特に高かった項目 】

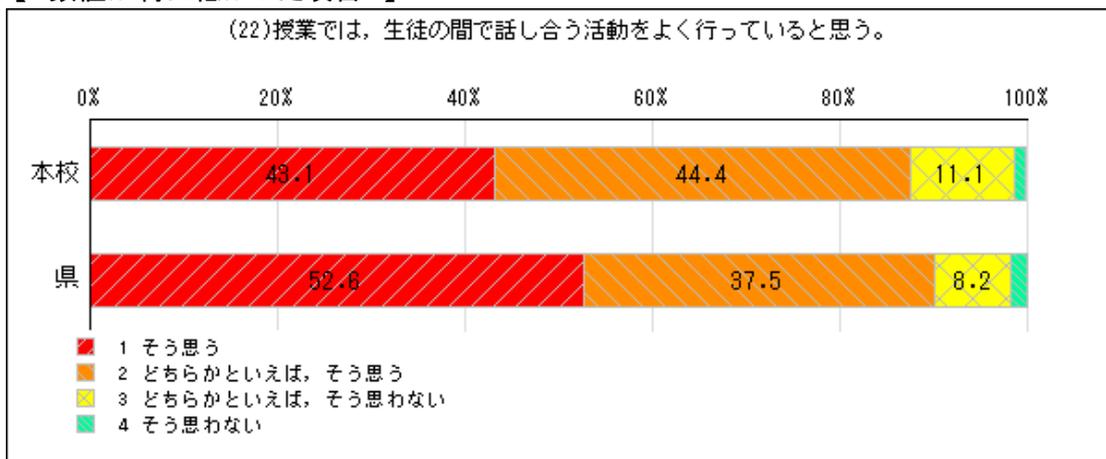




分析と改善に向けた具体的取り組み事項

学校生活が落ち着いており、諸活動に取り組んでいる姿がわかる。友達関係においても、ますます良好な関係を築けている。

【 数値が特に低かった項目 】



分析と改善に向けた具体的取り組み事項

自ら考えて自分の意見を発表し、ともに深め合っていく活動がやや劣っていると思われる。様々な活動に話し合いの場をもっと取り入れていく必要がある。